

西多摩地区

保護司会会報

■発行 西多摩地区保護司会 会長 中村 経男 ■編集 西多摩地区保護司会 広報委員会 ■発行日 令和元年11月15日



(あきる野市立西中学校・コスモス越しに見える五日市線)



2019年、更生保護制度は70周年を迎えました。

あやまちを経た人の「おち直りたい」という気持ちに寄り添い、

再教育を機会とする人たちがいます。

見守る、支援する、—思いやりの心で

地域とともに、これからも。

主「主」の字をモチーフに、概念の芽が伸びていよいよ。 そして未来を生きていく種を表象した更生保護のシンボルマークです。 法務省認定：更生保護制度70周年記念大企業連携会

目次

・西中コスモス街道（総合学習の時間に種を蒔き 夏休みに草取りをし手をかけて咲かせている）	1
・令和元年「社会を明るくする運動」参加人員総括表	2
・各分区の社明運動報告	
青梅分区・あきる野分区・羽村分区	3
福生分区・瑞穂分区・日の出分区・奥多摩分区	4
檜原分区・中学生感想文	5
・更生保護制度施行70周年記念全国大会	6
・第37回関東地方更生保護大会	6
・令和元年度第6ブロック保護司組織運営連絡協議会	7
・新任保護司研修会 SST研修会	7
・会務報告	8

西多摩地区保護司会は、八市町村八分区で構成され、保護司が三人から三十七人と幅があり、各分区の特性を生かしながら今年度も積極的に活動に取り組んできました。

今年度の運動への参加人数は、五千四百四十人（昨年より若干減少しているのは、天候不良により活動が中止になった為）。その参加者は、地域で活動されている多くの団体で（更生保護女性会、民生児童委員会、自治会等）、とりわけ中高校生の参加は、昨年を大きく上回っています。学生の年々の増加は地域連携、学校連携のもと活発な運動が展開された結果であり、当運動への関心、理解に大きな効果をもたらすものと考えられます。今後も更多的取り組みが望まれています。

強調月間終了後の九月の理事会において、宇田統括保護観察官にも出席いただき、西多摩全体及び各分区からの活

西多摩地区保護司会は、八市町村八分区で構成され、保護司が三人から三十七人と幅があり、各分区の特性を生かしながら今年度も積極的に活動に取り組んできました。

今年度の運動への参加人数は、五千四百四十人（昨年より若干減少しているのは、天候不良により活動が中止になった為）。その参加



(青梅市の啓発活動)

西多摩地区の 社会を明るくする運動

地域活動部長 佐久間 砂由利

動報告をしました。その中で、もつと高校生に声をかけ参加して欲しい、コツコツ地道に活動することが大切、

一般の方々の参加者の増加が課題等の意見が出され、次年度に向けての思いを新たにしました。

これからも社会を明るくする運動の一環として分区活動がいろいろ予定されていると思います。地域に根ざした、各分区の特性を生かした活動の取り組みを期待します。

令和元年度「社会を明るくする運動」参加人員総括表

西多摩地区保護司会 地域活動部

令和元年9月11日
(延人数)

区分	内訳							前年度実績	
	保護司	更生保護女性会	行政関係者	一般／各種団体	小・中学生	高校生	教員		
青 梅	260	116	74	488	53	0	26	1,017	952
福 生	145	57	43	98	77	0	29	449	460
羽 村	156	43	31	50	21	0	18	319	345
あきる野	253	26	36	189	158	16	52	730	610
瑞 穂	212	95	64	271	1,684	0	101	2,427	2,229
日 の 出	46	25	22	37	10	0	7	147	531
奥 多 摩	69	16	42	113	21	0	9	270	278
檜 原	30	3	30	18	0	0	0	81	100
西多摩地区									(33)
合 計	1,171	381	342	1,264	2,024	16	242	5,440	5,505
前年度実績	1,209	447	382	1,312	1,899	10	246	5,505	

各分区の社明運動

○青梅分区
新井みゆき

広い行政地域を持つ青梅分区は、自治会の協力のもと市内全域61ヶ所の掲示板全てに社明の更生ペンギンポスターを貼りました。市内の小学校17校、中学校11校全てにも掲示されております。市庁舎を初め各地域の市民センター11ヶ所、ミニ集会会場や広報活動時の掲示、もちろん各保護司による掲示など800枚を使用しました。





うことには、時代の変化はあります。」「継続は力なり」を心に、先輩たちが立ちあげ恒例行事として成長しているミニ集会の灯を消すことなく続けていきたいと思います。

うことには、時代の変化はあります。」「継続は力なり」を心に、先輩の保護司の方々が立ちあげ恒例行事で成長しているミニ集会の灯を消すことなく続けていきたいと思います。

青梅分団では市の推進委員会に先立ち、市との事前打合せを重ね2年前に自治会連合会会长に参加頂いたのを皮切りに、1年前民生児童委員会合同協議会会长、今年は中学校校長会会長にも事前協議会に加わって頂きました。保護司会が中心になりながらも、少しずつ保護司会以外の社明推進委員会の構成団体に社明への関心を持つて頂き、社明の裾野を広げていきたいという分区理事会の思いを市が汲み取り働きかけてくれたものです。分区長による6月初めの市内中学校校長会での社明の説明と

二集会がありまして、市内8ヶ所で行われ、主に地域の市民センターの協力を得て、それぞれの地域の自治会や青少年対策地区



PTA等の団体の参加を頂き、連携し合いながら活動を展開しました。参加者数は延べ二五三名でした。

中・高校生八七名は分区で用意した雨合羽を着て、「社会を明るくする運動です」と元気に声を掛けながら、通勤・通学者にティッシュ等を配りました。この生徒達の積極的な社会活動は、非行や犯罪の防止に大きく貢献すると思います。

○羽村分区 倉持 恭子

第69回を迎えた“社会を明るくする運動”羽村市では市長を委員長に10の構成団体が組織され7月1日の駅頭広報を始めとして市内全域広報はむら夏まつりでの広報活動、羽村市大会では警察署と連携した啓発活動、市内小中学校、都立特別支援学校、都立羽村高校の学校訪問を実施してきました。

特に本運動の理解を深めてもらう目的である小・中学生作文コンテストへの協力をいただき10校から151作品の応募がありました。

提出された作文は生徒一人一人が社明運動の趣旨を踏まえ、日常生活の中で体験したこと、感じたことが書かれていました。

に遭った経験を通して、家族や先生、地域の温かい心配りと支援を訴えた後、「明るい環境、開かれた社会が必要です」と言う、この当たり前の言葉は重く、頻発する幼

児虐待事件の防止にも繋がる、「願い」が込められていると思いまし

言葉は重く、
頻発する幼
児虐待事件
の防止にも

繫がる、「願
い」が込め
られている
と思いまし
た。

して受け継がれてきた経緯を次代へ繋いでいかなければならぬと決意を新たにしました。

○羽村分区
倉持 恭子



令和元年11月15日

西多摩地区保護司会会報

○福生分区 乙津 豊彦

六月に行われた推進委員会では、セレモニーのあとFC GONA代表篠田直氏による「スポーツ+子ども笑顔（デイズニーランドよりも夢と笑顔があふれる街へ）」と題した講演会を開催しました。

強調月間



中学生による駅頭活動

の初日、福生駅頭と牛浜駅頭において啓発活動を行いました。今年は市内の中学校から70名の生徒さんと12名の先生が参加してくれました。保護司でもある加藤市長も黄色い羽根のホゴちゃんTシャツを着て参加しました。

第69回福生七夕まつり開催期間中の八月三日（土曜日）、四日（日曜日）の二日間、猛暑のなかホゴちゃんTシャツを着て七夕まつり会場で啓発グッズを配りました。

○瑞穂分区 町田 富江

「社会を明るくする運動」は、あいさつ運動から始まりました。四月十六日から三日間は瑞穂第二中学校で、四月二十二日からの三日間は瑞

○日の出分区 對馬 伸一郎

穂中学校で行われました。生徒会役員、PTAの方々、一緒に登校していく生徒たちとあいさつを交わします。生徒の方から大きな声で「おはようございます」と声をかけられる事も多くなり、とても嬉しい時間です。

更生保護女性会の協力もあり、朝から爽やかな気持ちになりました。保護司の参加は、延べ六十四名でした。夏には、サマーフェスティバルに参加しました。八月十七日に、社会を明るくする運動実施委員会で啓発グッズを配布しました。坂本観察官と西多摩保護司会から三人の応援があり、充実した活動を行うことができました。配布後は、流し踊りコンクールに参加し、暑さの中にもほんの少し秋風を感じながら楽しく踊ることができました。保護司の参加は十二名でした。



視察に来られた校長先生のお話しが、生徒達は社明運動の意義について十分理解して参加している。週の生徒会朝礼で、参加した生徒達はこの体験について発表するとのこ

穂中学校で行われました。

生徒会役員、PTAの方々、一緒に登校していく生徒たちとあいさつを交わします。



例年、七月中旬の日曜日に町青少年委員会主催のモールでのヒップアップダンス発表会に合わせて行っていましたが、今年の発表会が参院選投票日と日程が重なり、町職員の支援が困難になつたため、平日（八日）の夕方四時から一時間、モール東側フードコート近くの入口で行いました。保護司四名、更女会員四名、町職員二名、中学生七名（二校の生徒会役員）が三か所に分かれ、利用客に声をかけながらポケットティッシュを配りました。そのうち二か所でまたまたモールに来ていた中学生計三名が、友達が広報活動しているのを見て一緒にやりたいとの申し出があり、自

主的に参加してくれました。参加・協力してくれた中学生達に感謝するとともに、いつか日の出分区の一員になつてくれたとの思いをもちました。

○奥多摩分区 小峰 一郎

6月7日午後、奥多摩町役場に総理大臣メツセージの伝達式を行いました。

7月1日午前



7時から奥多摩町長を招いて開始のセレモニーを行ない、奥多摩駅、古里駅周辺にて広報宣伝活動を更女の会、民生児童委員の方々と行いました。その後、町にある小中学校、保育園等を訪問して啓発物を渡し意見交換を行いました。

今後の課題として奥多摩町でも中学生

に協力してもいい社明運動の大切さを理解してもらいたい。

○檜原分区 福田 宮夫

令和元年度の檜原分区の社明運動は、前年と同様の体制で、六月七日にメッセージの伝達を行うとともに、準備委員会を開催し、広報活動を中心に六月七日から八月十七日まで、十回の活動計画を立て地域活動を実施しました。

活動の一として学校訪問がありますが、檜原村は小・中一貫の檜原学園檜原小学校、同檜原中学校の二校であり、夏休み前の七月十日は両校を訪問し、社明運動の協力を依頼し啓発グッズを配布しました。

そして、八月十七日には分区の活動の中心となる「払沢の滝ふるさと夏まつり」会場における広報活動を行いました。この活動には他分区及び活動部から八名の支援と、立川支部の宇田統括官、小嶋前主任官の応援をいたしました。



羽村第二中学校二年 西 愛栄
皆さんは、ありのままの自分で居ることができますか。

今、未成年による犯罪や非行についての話題や、いじめについての話題がテレビや新聞、インターネットなどを通じて目にすることが多い。

そのニュースを見ると私は、「何故そのような事が起ころうか。」と思うよりも、「悲しい。」と思う気持ちの方が大きかった。そして、誰もが皆同じとは限らない事が起きてしまう原因が、その人の「居場所」の有無と関係しているのではないかと様々

なことから考える様になっていた。

私は、ある時「不登校生徒の五人に一人が心のホームレス状態である。」というインターネットの記事が目にに入った。心のホームレス状態になつてしまつた子が、やはりホーム(本人の居場所)を持つということだと思う。心のホームレス状態になつてしまつた子が、またもう一度居場所を持つということは、難しいのかもしれない。だが、人間にとつて安心できたり、自分は必要とされているのだと思える

ことは、難しいのかもしれない。だが、人間にとつて安心できたり、自分は必要とされているのだと思える居場所はなくてはならない。自分では見つけられないと思うし、怖いと思う気持ちもあると思う。だけど、そんな時もどこかにありのままの自分を受け入れてくれる前に気付いて、犯罪などに関わる前に気付いてほしいと色々考えていく中で思つた。ほとんどの子供が一日半分を学校で過ごし、半分を家で過ごすという中で、どちらの居場所も失つているという事実に私は驚いた。なぜなら、私も実際に学校での居場所を失なつたことがあつたが、そんな時は支えてくれる温かい家族がいる居場所はあつた。もしも、その時にどちらの居場所も失つていたらと考へる。

だけでも恐ろしい。だが、本当に失つた子供は多くいるのだ。その結果、家から出てこない徘徊し、万引きや街へ出て徘徊し、万引きになる。あるいは、街へ出て徘徊し、万引きや街へ出て徘徊し、万引きになる。不登校といふのは、無気力や暗いイメージがあり、犯罪などとは遠いイメージかも知れないが、ホームのない子はホームの代わりになる場所を求めて街中でコミュニティを探す。そこから様々な集団の誘いや求めを受けて犯罪などに関わるケースが多いのだ。

では、どうすれば「心のホームレス状態」は解消されるのだろうか。私も実際に考えてみた。まず一つ目は、やはりホーム(本人の居場所)を持つことだと思う。心のホームレス状態になつてしまつた子が、またもう一度居場所を持つということは、難しいのかもしれない。だが、人間にとつて安心できたり、自分は必要とされているのだと思える居場所はなくてはならない。自分では見つけられないと思うし、怖いと思う気持ちもあると思う。だけど、その代わりに私は人を受け入れるため、温かい心で人と接しようと、してもらつてやることができる。その代わりに私は人を受け入れるため、温かい心で人と接しよう、してもらつてやれしかつたことを誰かにすることを心掛けている。この取り組みがどのように伝わり、誰の心に届いてくれるかは分からないが、これからも続けて行こうと思う。過去に何があつても今を一生懸命生きている人はたくさんいるはずだ。そんな人を温かい心で受け入れられるように、家でも学校でもない所に、私は誰かのホームをつくつていきたい。

更生保護制度施行70周年記念全国大会

令和元年十月七日(月)更生保護施行七十周年記念全国大会が天皇皇后両陛下御臨席のもと東京フォーラムで開かれた。

参加者総数約五千名で更生保護関係者約四千九百名、関係機関、団体の代表者約百名であった。

午後一時、開会の辞から始まりご逝去された方に対し黙祷がありましたが、起立して両陛下を拍手でお迎えし国歌斉唱した。

更生保護法人全国保護司連盟理事長野沢太三氏の式辞、主催者法務大臣、都知事の挨拶、つづいて顕彰を行つた法務大臣表彰一四九七名、法務大臣感謝状二五四名、更生保護法人全国保護司連盟理事長表彰戸山賞個人三名、団体二名。

受章者代表謝辞は、高知県北川俊一氏が行つた。

天皇陛下より「献身的に更生保護を支えてきた多くの関係者の努力に敬意を表します」とのお言葉をいたしました。

来賓祝辞は総理大臣、衆参両院議長、最高裁判所長官、日本弁護士連合会会長でした。

閉会の辞、万歳三唱して三時に終了しました。

(広報部 原島 悟)

西多摩地区保護司会会報

「宣言」

令和といつ新たな時代の幕開けとなるこの記念すべき大会を契機にとして、私たち保護司、更生保護法人役職員、更生保護女性会員、BBS会員、協力雇用主や就労支援事業者、機関など更生保護関係者一同は課せられた責務の重大さを改めて深く認識し、一層強く互いに手を携えるとともに、更生保護サポートセンターを拠点に地域に根差し、地方公共団体を始め国内外のネットワークを広げて、安全で安心な誰一人取り残さない社会の実現に寄与していくことを誓います。(元法務大臣 谷垣禎一氏による)



宣言後、
両陛下は退
席されました。

休憩後、

研究協議
「広がり、
つながる更
生保護」を

閉会の辞、万歳三唱して三時に終了しました。



式辞に大会長関東地方保護司連盟
会長小林聖仁氏。

次に國歌斉唱し、栃木県保護司会
連合会会長安藤良子氏による天皇陛
下のお言葉の奉読。

式辞に大会長関東地方保護司連盟
会長小林聖仁氏。

令和元年十月二十五日(金)第三十
七回関東地方更生保護大会が宇都宮
市文化会館で開催された。

式典の前に白鷗大学ハンドベルに
よる演奏に続き、自治医科大学学長
永井良三氏による「少子高齢化時代
の地域医療」についての講演があつた。

開式の辞は、更生保護法人関東地
方更生保護事業協会理事長青木勲氏、
逝去された方への黙とうを行う。

次に國歌斉唱し、栃木県保護司会
連合会会長安藤良子氏による天皇陛
下のお言葉の奉読。

式辞に大会長関東地方保護司連盟
会長小林聖仁氏。

次に國歌斉唱し、栃木県保護司会
連合会会長安藤良子氏による天皇陛
下のお言葉の奉読。

式辞に大会長関東地方保護司連盟
会長小林聖仁氏。

表彰・
来賓祝辞
・来賓紹
介・祝電
披露・閉
式の辞。

大会宣
言は関東
地方保護
司連盟副
会長村上
校正氏が
「元号が
平成から
『令和』

に変わり、新しい時代が始まつたこ
のとき、私たち更生保護関係者一同
は、この記念大会を契機として、課
せられた責務の重大さを自覚し、地
域の様々な関係機関、団体との連携
をより一層強固なものとし、犯罪や
非行をした人を社会から排除・孤立
させることなく、再び受け入れるこ
とが自然にできる『誰一人取り残さ
ない』社会の実現、犯罪のない安
全・安心な社会づくりのために行動
することを誓い、ここに宣言」と話
された。

閉会の言葉・万歳三唱で閉会した。

(広報部 原島 悟)



第三十七回 関東地方更生保護大会

会務報告

○理事会

令和元年九月十一日(水)、青梅市

福祉センター集会室で、宇田紀之統括保護観察官ご出席のもと、第二回理事会が開催されました。

会議に先立ち、去る六月にご逝去された三ツ木謙三郎前西多摩地区保護司会会长に一同黙祷をしました。

理事会は中村会長より、麦久保園での社会参加活動・社会貢献活動、新任保護司研修会、SST研修会、臨時理事会及び臨時総会等、十二項目の報告がありました。続いて更生保護制度七十周年全国大会、西多摩保護観察協会参与との協議会等、八項目の今後の予定が報告されました。

西多摩地区保護司会会報

令和元年11月15日

令和元年九月十一日(水)、青梅市
福祉センター集会室で、宇田紀之統括保護観察官ご出席のもと、第二回理事会が開催されました。

会議に先立ち、去る六月にご逝去された三ツ木謙三郎前西多摩地区保護司会会长に一同黙祷をしました。

理事会は中村会長より、麦久保園での社会参加活動・社会貢献活動、新任保護司研修会、SST研修会、臨時理事会及び臨時総会等、十二項目の報告がありました。続いて更生保護制度七十周年全国大会、西多摩保護観察協会参与との協議会等、八項目の今後の予定が報告されました。

協議事項では各部からこれ迄の活動状況の説明や、第6ブロック保護司組織運営連絡協議会への対応等話し合いました。また「第六十九回社明運動」について佐久間地域活動部長からの全体報告と、分区長より分区の活動報告がありました。

令和元年九月十一日(水)、青梅市
福祉センター集会室で、宇田紀之統括保護観察官ご出席のもと、第二回理事会が開催されました。

会議に先立ち、去る六月にご逝去された三ツ木謙三郎前西多摩地区保護司会会长に一同黙祷をしました。

理事会は中村会長より、麦久保園での社会参加活動・社会貢献活動、新任保護司研修会、SST研修会、臨時理事会及び臨時総会等、十二項目の報告がありました。続いて更生保護制度七十周年全国大会、西多摩保護観察協会参与との協議会等、八項目の今後の予定が報告されました。

協議事項では各部からこれ迄の活動状況の説明や、第6ブロック保護司組織運営連絡協議会への対応等話し合いました。また「第六十九回社明運動」について佐久間地域活動部長からの全体報告と、分区長より分区の活動報告があ

りました。

更生保護制度施行七十周年記念すべき年に受賞された方を紹介します。

法務大臣表彰

内山 郁子 (あきる野分区)

田村 祥子 (福生分区)

荻島 初美 (羽村分区)

全国保護司連盟理事長表彰

新井みゆき (青梅分区)

吉中 順子 (羽村分区)

関東地方更生保護委員会委員長表彰

柳内 昭治 (青梅分区)

倉持 恭子 (羽村分区)

井上 忠男 (羽村分区)

大野 篤子 (福生分区)

吉野 俊次 (檜原分区)

関東地方保護司連盟会長表彰

竹田 良昭 (福生分区)

平田 みづ枝 (福生分区)

郡司 齊藤 光志 (福生分区)

大谷 杉村 (羽村分区)

加藤 博文 (奥多摩分区)

須藤 孝一 (青梅分区)

芳正 (日の出分区)

東京保護観察所長表彰

宇津木 由廣 (青梅分区)

菅原 弘貴 (青梅分区)

伊藤 健一 (青梅分区)

池田 信 (青梅分区)

星野 ひとみ (青梅分区)

田中 幸 (青梅分区)

内田 伸 (青梅分区)

小峰 一郎 (青梅分区)

小林 康司 (青梅分区)

恒益 正敏 (青梅分区)

基樹 (青梅分区)

東京保護司会連合会会長表彰

柳内 昭治 (青梅分区)

倉持 恭子 (羽村分区)

井上 忠男 (羽村分区)

大野 篤子 (福生分区)

吉野 俊次 (瑞穂分区)

竹田 良昭 (瑞穂分区)

平田 みづ枝 (瑞穂分区)

郡司 齊藤 光志 (瑞穂分区)

大谷 杉村 (瑞穂分区)

加藤 博文 (瑞穂分区)

須藤 孝一 (瑞穂分区)

芳正 (瑞穂分区)

宇津木 由廣 (瑞穂分区)

菅原 弘貴 (瑞穂分区)

伊藤 健一 (瑞穂分区)

池田 信 (瑞穂分区)

星野 ひとみ (瑞穂分区)

田中 幸 (瑞穂分区)

内田 伸 (瑞穂分区)

小峰 一郎 (瑞穂分区)

小林 康司 (瑞穂分区)

恒益 正敏 (瑞穂分区)

基樹 (瑞穂分区)

東京保護司会連合会会長表彰

柳内 昭治 (瑞穂分区)

倉持 恭子 (瑞穂分区)

井上 忠男 (瑞穂分区)

大野 篤子 (瑞穂分区)

吉野 俊次 (瑞穂分区)

竹田 良昭 (瑞穂分区)

平田 みづ枝 (瑞穂分区)

郡司 齊藤 光志 (瑞穂分区)

大谷 杉村 (瑞穂分区)

加藤 博文 (瑞穂分区)

須藤 孝一 (瑞穂分区)

芳正 (瑞穂分区)

宇津木 由廣 (瑞穂分区)

菅原 弘貴 (瑞穂分区)

伊藤 健一 (瑞穂分区)

池田 信 (瑞穽分区)

星野 ひとみ (瑞穽分区)

田中 幸 (瑞穽分区)

内田 伸 (瑞穽分区)

小峰 一郎 (瑞穽分区)

小林 康司 (瑞穽分区)

恒益 正敏 (瑞穽分区)

基樹 (瑞穽分区)

東京保護司会連合会会長表彰

柳内 昭治 (瑞穽分区)

倉持 恭子 (瑞穽分区)

井上 忠男 (瑞穽分区)

大野 篤子 (瑞穽分区)

吉野 俊次 (瑞穽分区)

竹田 良昭 (瑞穽分区)

平田 みづ枝 (瑞穽分区)

郡司 齊藤 光志 (瑞穽分区)

大谷 杉村 (瑞穽分区)

加藤 博文 (瑞穽分区)

須藤 孝一 (瑞穽分区)

芳正 (瑞穽分区)

宇津木 由廣 (瑞穽分区)

菅原 弘貴 (瑞穽分区)

伊藤 健一 (瑞穽分区)

池田 信 (瑞穽分区)

星野 ひとみ (瑞穽分区)

田中 幸 (瑞穽分区)

内田 伸 (瑞穽分区)

小峰 一郎 (瑞穽分区)

小林 康司 (瑞穽分区)

恒益 正敏 (瑞穽分区)

基樹 (瑞穽分区)

東京保護司会連合会会長表彰

柳内 昭治 (瑞穽分区)

倉持 恭子 (瑞穽分区)

井上 忠男 (瑞穽分区)

大野 篤子 (瑞穽分区)

吉野 俊次 (瑞穽分区)

竹田 良昭 (瑞穽分区)

平田 みづ枝 (瑞穽分区)

郡司 齊藤 光志 (瑞穽分区)

大谷 杉村 (瑞穽分区)

加藤 博文 (瑞穽分区)

須藤 孝一 (瑞穽分区)

芳正 (瑞穽分区)

宇津木 由廣 (瑞穽分区)

菅原 弘貴 (瑞穽分区)

伊藤 健一 (瑞穽分区)

池田 信 (瑞穽分区)

星野 ひとみ (瑞穽分区)

田中 幸 (瑞穽分区)

内田 伸 (瑞穽分区)

小峰 一郎 (瑞穽分区)

小林 康司 (瑞穽分区)

恒益 正敏 (瑞穽分区)

基樹 (瑞穽分区)

東京保護司会連合会会長表彰

柳内 昭治 (瑞穽分区)

倉持 恭子 (瑞穽分区)

井上 忠男 (瑞穽分区)

大野 篤子 (瑞穽分区)

吉野 俊次 (瑞穽分区)

竹田 良昭 (瑞穽分区)

平田 みづ枝 (瑞穽分区)

郡司 齊藤 光志 (瑞穽分区)

大谷 杉村 (瑞穽分区)

加藤 博文 (瑞穽分区)

須藤 孝一 (瑞穽分区)

芳正 (瑞穽分区)

宇津木 由廣 (瑞穽分区)

菅原 弘貴 (瑞穽分区)

伊藤 健一 (瑞穽分区)

池田 信 (瑞穽分区)

星野 ひとみ (瑞穽分区)

田中 幸 (瑞穽分区)

内田 伸 (瑞穽分区)

小峰 一郎 (瑞穽分区)

小林 康司 (瑞穽分区)

恒益 正敏 (瑞穽分区)

基樹 (瑞穽分区)

東京保護司会連合会会長表彰

柳内 昭治 (瑞穽分区)

倉持 恭子 (瑞穽分区)

井上 忠男 (瑞穽分区)

大野 篤子 (瑞穽分区)

吉野 俊次 (瑞穽分区)

竹田 良昭 (瑞穽分区)

平田 みづ枝 (瑞穽分区)

郡司 齊藤 光志 (瑞穽分区)

大谷 杉村 (瑞穽分区)

加藤 博文 (瑞穽分区)

須藤 孝一 (瑞穽分区)

芳正 (瑞穽分区)

宇津木 由廣 (瑞穽分区)

菅原 弘貴 (瑞穽分区)

伊藤 健一 (瑞穽分区)

池田 信 (瑞穽分区)

星野 ひとみ (瑞穽分区)

田中 幸 (瑞穽分区)

内田 伸 (瑞穽分区)

小峰 一郎 (瑞穽分区)

小林 康司 (瑞穽分区)

恒益 正敏 (瑞穽分区)

基樹 (瑞穽分区)

東京保護司会連合会会長表彰

柳内 昭治 (瑞穽分区)

倉持 恭子 (瑞穽分区)

井上 忠男 (瑞穽分区)

大野 篤子 (瑞穽分区)

吉野 俊次 (瑞穽分区)

竹田 良昭 (瑞穽分区)

平田 みづ枝 (瑞穽分区)

郡司 齊藤 光志 (瑞穽分区)

大谷 杉村 (瑞穽分区)

加藤 博文 (瑞穽分区)

須藤 孝一 (瑞穽分区)

芳正 (瑞穽分区)

宇津木 由廣 (瑞穽分区)

菅原 弘貴 (瑞穽分区)

伊藤 健一 (瑞穽分区)

池田 信 (瑞穽分区)

星野 ひとみ (瑞穽分区)

田中 幸 (瑞穽分区)

内田 伸 (瑞穽分区)

小峰 一郎 (瑞穽分区)

小林 康司 (瑞穽分区)

恒益 正敏 (瑞穽分区)

基樹 (瑞穽分区)

東京保護司会連合会会長表彰

柳内 昭治 (瑞穽分区)

倉持 恭子 (瑞穽分区)

井上 忠男 (瑞穽分区)

大野 篤子 (瑞穽分区)

吉野 俊次 (瑞穽分区)

竹田 良昭 (瑞穽分区)

平田 みづ枝 (瑞穽分区)

郡司 齊藤 光志 (瑞穽分区)

大谷 杉村 (瑞穽分区)

加藤 博文 (瑞穽分区)

須藤 孝一 (瑞穽分区)

芳正 (瑞穽分区)

宇津木 由廣 (瑞穽分区)

菅原 弘貴 (瑞穽分区)

伊藤 健一 (瑞穽分区)

池田 信 (瑞穽分区)

星野 ひとみ (瑞穽分区)

田中 幸 (瑞穽分区)

内田 伸 (瑞穽分区)

小峰 一郎 (瑞穽分区)

小林 康司 (瑞穽分区)

恒益 正敏 (瑞穽分区)

基樹 (瑞穽分区)

東京保護司会連合会会長表彰

柳内 昭治 (瑞穽分区)

倉持 恭子 (瑞穽分区)

井上 忠男 (瑞穽分区)

大野 篤子 (瑞穽分区)

吉野 俊次 (瑞穽分区)

竹田 良昭 (瑞穽分区)